

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区上鶴馬本町計画	階数	地上15F
建設地	相模原市南区上鶴間本町二丁目2936番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、防火指定無し	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	1,547 m ²	作成者	有限会社 湯本建築事務所
建築面積	280 m ²	確認日	2017年2月20日
延床面積	3,370 m ²	確認者	有限会社 湯本建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境	3.1
温熱環境	2.9
光・視環境	3.4
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

機能性	4.0
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.6
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	2.7
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	・熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めている。	0
Q1 室内環境	・居室単位でエアコンを採用しており、冷暖は室単位にて設定でき、制御性に優れている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地に余裕があり、風の通り道の指標となる空地率をあげている。
LR1 エネルギー	LEDなど高効率の設備を採用し、一次エネルギーを少しでも削減している。	LR3 敷地外環境 ・屋根や外壁の外皮に十分な断熱性能を施し、建具には複層ガラスを採用して熱損失を抑制している。
Q2 サービス性能	・階高を2.91mに設定し、機能性・快適性の向上を図っている。各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器などを採用して節水を図っています。LGS+PBで躯体と仕上げが容易に分割可能としている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される